学校番号	T4001

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	（学）英会話	2	１～４	聞くだけで！中学英語を３時間で簡単に身につける本（株）南雲堂

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「話す」「聞く」２技能の基礎力をつけます。簡単な日常会話を英語でできるようにするために、NET と日本人教師の会話をモデルに、生徒と教師だけでなく、生徒同士がグループやペアで話したり聞いたりすることで、会話力向上をはかります。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	アルファベットの発音を正確に聞き取ることができる。 ゆっくりと、またはっきりと発音されれば内容が理解できる。 道案内を依頼された時などに、相手の要望を聞き取ることができる。	基本的な日常の挨拶や季節の挨拶の文を読んで理解することができる。 基本的で具体的な単語や句の意味を理解することができる。 日常会話レベルの文法で書かれた文章を読み、意味を理解することができる。	アルファベットを正確に発音することができる。 基本的な単語を母語話者にも理解してもらえるように適切に発音することができる。 簡単な日常会話を行うための語彙力や発音を身につけている。	アルファベットを正確に発音することができる。 基本的な単語を母語話者にも理解してもらえるように適切に発音することができる。 自己紹介や家族のことなど、簡単な日常会話を人前で行うことができる。	ブロック体のアルファベットを大文字・小文字を区別して順番通り書くことができる。 基本的な単語や句を正確に書くことができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	挨拶や自己紹介、天気や家族のことなど、簡単な日常会話を行うために必要な語彙力や発音が身についている。	道案内をする時や自分の感情を相手に伝える時など、身につけた知識をその状況に応じて正しく活用できる思考力や判断力、表現力を身につけている。	英語で日常会話を行えるようにする、という目標に向かって、主体的、意欲的に取り組むことができている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
4月 5月 6月 7月	第1章：be動詞の基本 第2章：一般動詞の基本 第3章：過去を表す形 第4章：前置詞 第5章：進行形と未来 第6章：疑問詞 第7章：助動詞 インタビューテスト	聞くこと	a:挨拶や自己紹介の内容を聞き取ることができるか。 b:身につけているものについての説明など、場面に応じて変化する英会話を聞き取ることができる。 c:他者の話を聞く、という姿勢を持ち、リスニング能力の向上に取り組むことができているか。	定期考査 （リスニング） ワークシート
		読むこと	a:自己紹介や天気の話など、場面に応じた英会話を文面から読み取ることができるか。 b:前置詞や受動態など文法的知識を踏まえて文章を読み取ることができるか。 c:文章内容理解に意欲的に取り組もうとしているか。	定期考査 （リーディング） ワークシート
		話すこと （やりとり）	a:生徒同士であいさつや天気、家族についてなど簡単な日常会話を行うことができるか。 b:買い物のときのやり取りや、学校の周囲の道案内など、実生活に即した会話を行うことができるか。 c:相手の挨拶や自己紹介の内容を理解した上で応答しようとしているか。	観察 発表・対話
		書くこと	a:例示する表現の使い方を理解できているか。 b:本文中での意味や用法を理解し、自身の会話文の内容に反映させることができているか。 c:例示する表現の使い方を理解し、話せるようになるために大切な「書く」という動作に意欲的に向きあえているか。	定期考査 （ライティング） ワークシート
7月	中間考査			
9月 １０月 １１月 １２月 1月	第８章：さまざまな文 第９章：動詞などの後ろにつく要素 第 10 章：受動態と現在完了形 第 11 章：不定詞・動名詞・分詞 第 12 章：関係代名詞 第 13 章：接続詞 第 14 章：比較 インタビューテスト	聞くこと	a:文面や表現から相手が興味のあることを推察したり、相手の感情状態を聞き取ることができていか。 b:現在形や未来時制、過去形など時間に関わる表現の違いを正確に聞き取ることができるか。 c:日常会話レベルの英会話に必要なリスニングに取り組む姿勢を身につけているか。	定期考査 （リスニング） ワークシート
		読むこと	a:現在形や未来時制、過去形などが使われている文章から内容を正確に読み取ることができる。 b:複雑な感情の変化などを文章から読みとることができるか。 c:現在形と過去形など、時制の違う文章の内容を正確に読み取ることができる。	定期考査 （リーディング） ワークシート
		話すこと （やりとり） （発表）	a:時制の違いを使い分けながら、毎日の自分の生活について話すことができるか。 b:自分が病気になった時など、状況に応じた適切な表現を行うことができるか。 c:複雑な会話について積極的に取り組もうとする姿勢があるか。	観察 発表・対話
		書くこと	a:頻度の副詞や複雑な時制を用いた文章を書くことができるか。 b:学んだ文法などを用いて今の自身の状態を正確に記述することができているか。 c:複雑な感情や職業の説明など、高度な文章の作成に取り組もうとしている。	定期考査 （ライティング） ワークシート
1月	期末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度